



3年生公民館まつりに出演

さあ、いよいよ3年生の子どもたちが、楽しみにしていた「公民館まつり」が始まります。

10月23日(日)、湯来南公民館の「公民館まつり」が開催されました。毎年、オープニングに3年生児童が出演しています。

3名の代表児童がくす玉を割り、さあ公民館まつりの「はじまりはじまり」です。公民館の方は、くす玉が上手く割れるか裏手で心配そうに見ておられましたが、3名の児童が力を合わせ上手

にくす玉割りことができました。公民館の方は、ほっと胸をなでおろしておられました。

オープニングセレモニーは、砂谷中学校吹奏楽部の演奏、湯来南小学校3年生の演奏、湯来南高等学校和太鼓部の演奏と続きます。

湯来南小学校3年生児童が、ステージの上に登場しました。控室では、担任の上山先生と楽しそうに話をしていたのですが、今はとても緊張した顔をしています。

「大丈夫かな。控室ではあんなに元気だったのに・・・」と校長先生は、少し心配になりました。

ところが、代表児童の挨拶が終わり音楽の佐々木先生の軽やかなピアノ伴奏に合わせ、歌い始めるとみんないい表情に変わりました。9月からこれまで一生懸命に練習してきた成果を見てもらおうという気持ちがひしひしと伝わってきました。

「まっかな秋」と「気球に乗ってどこまでも」を歌い、「聖者の行進」を合奏しました。最後のシンバルも、かっこよく決まりました。ステージから降りて、控室に戻った時の子どもたちの顔は、ほっとした表情と満足いっぱいの笑顔でした。

子どもたちは、校内作文コンクールや水泳記録会、陸上記録会等発表の機会を通して成長していきます。発表したり、表彰してもらおうと、個々の技能を高めようと努力をしたりします。その他にも多くの学びがあるのです。

3年生児童がみんなで力を合わせたからこそ、まつりに参加された地域や保護者の方々から「素晴らしいですね。」「上手ですね。」「みんな一生けん命なのに感動しました。」と賞賛の声をたくさんいただいたのだと実感しました。

行事だけでなく、学習においても、これからの3年生の子どもたちの成長を楽しみにしたいと思います。

